

きらめき通信 vol.70

令和4年度

2022年9月（隔月発行）

「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰を受けて」 樗木晶子

この度、思いもかけず男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰を受けました。6月末に突然、福岡県より受賞の連絡があり、一番本人がびっくりしています。福岡県男女共同参画審議会において第5次福岡県男女共同参画計画等の策定に係る審議会の意見をまとめて知事に答申するなどの機会をいただきましたが、何よりも15年間、九州大学病院で医療人のライフイベントによる離職を防ぐための非常勤制度をつくり、将来の常勤職復帰を支援する「きらめきプロジェクト」を続けてきたことに評点が当てられました。ですから、この受賞は、きらめき関係者皆様と共に九州大学病院が受賞したと思っています。これまで継続できましたことに心から感謝いたします。

この15年間で九州大学だけでなく、多くの病院で女性医師支援が取り組み、女性医師が育児等で離職することや女性であるための差別は少なくなったと思いますが、育児を担う世代で、女性のみが非常勤になり家庭を支えるという構図はほとんど変わりませんでした。現在、医療人の働き方改革が推進されていますが、柔軟な働き方が受容され、夫も育児や家事を妻と共にシェアすることにより、女性医師が非常勤にならずに勤務できる社会となれば、その能力をフルに活かすことができ、社会への大きな貢献となります。男性も育児や家事の経験はマルチタスク能力を高め、他者との関係性を円滑にし、視野をひろげ、人生を豊かにする根源になると思います。男女共に老いても豊かな人生を過ごす基盤は人との繋がりにあります。育児で時間を取られるのは十数年です。その間、仕事のペースは少し落ちるかもしれませんが、人生90年を迎えている現在、子育て終了後から男女共に120%で仕事に取り組む体力も気力も維持できるはずです。

どのような有り様の医療人においても、その能力を開花できるようになれば、きらめきの役割は終わりとなります。早くその日が来ることを願いつつ、皆様と受賞の喜びを分かち合いたいと思います。

ありがとうございました。

男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰を受けました！

きらめきプロジェクト顧問である樗木晶子先生が、きらめきプロジェクトを代表して、令和4年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰を受けました。

当日は、福岡県庁にて伝達式が行われ、樗木晶子先生が服部県知事より表彰状を授与され、謝辞を述べられました。

令和4年9月5日



服部知事と樗木先生



表彰状授与シーン



謝辞を述べる樗木先生



県議会議員の先生も一緒に

※福岡県より提供・許可いただいた写真を使用しております。

九州大学病院 臨床教育研修センター
きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX : 092-642-5203

E M A I L : kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp

U R L : <https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/>



令和4年度きらめきプロジェクト講演会を開催しました。

9月20日（火）に、令和4年度九州大学馬出地区4部局合同男女共同参画FDと共同にて「令和4年度きらめきプロジェクト講演会」を開催しました。第一部は、九州大学大学院 医学研究院長 北園孝成先生の進行で、医療法人あおばクリニック小児科医 伊藤瑞子先生に、「育児の共有」というテーマでお話を

していただき、第二部は、きらめきプロジェクト顧問 樗木晶子先生の進行で、社会状況や世代が異なる、きらめきプロジェクトプログラム責任者 加藤聖子先生、副プログラム責任者 永吉絹子先生より、どうやって子育て世代を乗り越え、またキャリアを継続してきたか、をそれぞれのご経験により発表していただき、その後歯学研究院 安河内友世先生、薬学研究院 寄立麻琴先生、生体防御医学研究所 伊藤美菜子先生を交え、意見の交換をしました。全ての講演・発表またパネルディスカッションもエネルギーギッシュなものとなりました。

最後に、きらめきプロジェクト設立時の九州大学病院長であり、その立ち上げに大きく貢献されました、九州大学名誉教授・学校法人福岡学園理事長でいらっしゃいます水田祥代先生に、挨拶を賜りました。

コロナが蔓延し出して以来、約3年ぶりの対面講演会となりましたが、たくさんの方々に参加していただきました。



医学研究院長
北園孝成 先生



演者 伊藤瑞子 先生



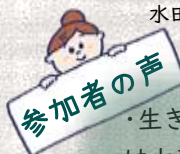
臨床教育研修センター長
新納宏昭 先生



水田祥代 先生を囲んで集合写真



パネルディスカッションの様相



- ・生き生きと女性が働かれていることを印象深く拝聴しました。継続する重要性は大事だと思いました。
- ・女性が仕事を続けるには、家族の支えと周囲の理解が必要であることがよくわかりました。働く改革は、育児と家事を男女共同分担することから始まると思います。
- ・体験をシェアすることの重要性を認識しました。
- ・伊藤先生のご講演に感銘を受けました。ご自身の様々な（私の世代からすると壮絶な）経験からだけでなく、広く情報収集して考察を深めておられ、そして現在もなお努力を続けられていることに頭が下がります。
- ・バイタリティーのあふれる先生方のお話を聞いたことは非常に刺激になりました。最後に「みんなが同じようにはいかない。同じ努力をしても同じようになるとは限らないため、それぞれのプランをイメージして進んでいくとよい」とお話しただいたこともまた、感銘を受けました。